2026 年 11 月 19 日

各　位

会　社　名　　株式会社トレードワークス
代表者名　　代表取締役社長　齋藤　正勝
（コード：3997　東証スタンダード）
問合せ先　　取締役 管理部門管掌　徳島　直哉
（TEL. 03-6230-8900）

組織変更および人事異動に関するお知らせ

～AI・オンチェーンに続く第三の戦略室「サイバーセキュリティ戦略室」の新設～

当社は、2026 年 11 月 19 日開催の取締役会において、2026 年 12 月 1 日付で「サイバーセキュリティ戦略室」を新設し、室長にベンエルフィキ ワジディを任命することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、2026 年 1 月に「AI 戦略室」、同年 6 月に「オンチェーン戦略室」を設置し、両領域を一体で推進する「AI×オンチェーン金融戦略会議」のもと、次世代金融インフラの実装を進めてまいりました。サイバーセキュリティ戦略室は、これに続く 3 つ目の戦略室です。管理部門に置き、守りの戦略面全般を担います。

AI エージェントが取引の主体となり、資産がトークンとして動く次世代の金融では、システムの安全性そのものが信頼の基盤となります。また、サイバー攻撃は国境を越えて自動化・高度化しており、守りにも世界の知見が欠かせません。当社は、2026 年 10 月より開示しております当社提供システムへの不正アクセス事案を踏まえ、お客様の資産と情報を守ることを経営の最優先課題と位置付けております。そのうえで、「守り」を AI・オンチェーンと並ぶ戦略領域とし、将来の事業の柱としても育ててまいります。

記

1．組織変更

（1）新設組織

サイバーセキュリティ戦略室（Cybersecurity Strategy Office）　管理部門に設置（管掌：取締役 管理部門管掌　徳島 直哉）

（2）3 つの戦略室

戦略室	設置	主な役割
AI 戦略室	2026 年 1 月	AI の実装、「Trade AI Agent」の推進
オンチェーン戦略室	2026 年 6 月	トークン化・Web3 領域の事業推進
サイバーセキュリティ戦略室	2026 年 12 月	守りの戦略面全般（経営への提言、全社戦略の立案、各部門への指導・助言）

（3）新設の狙い

① 「第三の戦略室」として、新中期経営計画の取組みを「守り」から支えます

当社は、2026 年 8 月 7 日に公表した「新中期経営計画（2027-2029）骨子」において、「証券業界向けシステムプロバイダーから、リテール投資のインフラ提供者へ」を掲げ、本業（証券 IT）の深化と新領域への拡張を示しました。さらに、2026 年 11 月 6 日に公表した第 3 四半期決算説明資料において、「守りを、事業の柱に」を掲げ、サイバー対策を全事業の土台として強化するとともに、信頼基盤と Trade AI Agent を新中期経営計画の二本柱とする考えを示しております。本戦略室は、この方針に沿って「守り」を担います。なお、新中期経営計画の正式版は、2027 年 2 月に公表する予定です。

② AI・オンチェーンとの相乗効果を生み出します

AI エージェントの権限管理や AI が扱う情報の保護、トークン化された資産を扱う基盤での暗号鍵の管理など、新しい技術ほど安全性の設計が信頼を左右します。社長直轄の会議体「AI×オンチェーン金融戦略会議」に同室長も参画し、2 つの戦略室と連携して「Trade AI Agent」をはじめとする次世代基盤に設計段階から安全性を組み込むとともに、脆弱性の発見や攻撃の検知など、守る側でも AI を活用します。

③ 世界の知見を取り込み、国際水準の守りを全社に広げます

海外の脅威情報や脆弱性情報を常時収集・分析し、国内外のオープンソースコミュニティや研究者と連携して、責任ある脆弱性開示の原則に沿った研究を進めます。その知見をもとに、当社が提供するシステムおよび社内システムのサイバーセキュリティ対策を、開発・運用部門から独立した立場で計画・提言し、再発防止策の継続的な改善につなげます。

④　セキュリティを、積み上がる事業に育てます

セキュリティサービス部が担う診断サービスとセキュリティポータル「SecuAlive」の提供体制はそのまま維持し、戦略室は、事業戦略の面から同部を指導・助言し、新サービスの方向づけを担います。サービスの提供と事業の推進は、引き続き同部が担います。単発の診断にとどまらず、継続的な監視や脆弱性情報の提供など、ご契約が積み上がるストック型のサービスへの転換を進めます。金融機関のシステムを長年手掛けてきた知見を生かした金融業界向けサービスを軸に、将来的には海外市場への展開も視野に入れてまいります。

2．人事異動

氏名	新役職	現所属
ベンエルフィキ　ワジディ	サイバーセキュリティ戦略室 室長	セキュリティサービス部

3．新任室長の略歴

氏名	ベンエルフィキ　ワジディ（Ben El Fekki Wajdi）
語学	日本語、英語、アラビア語、フランス語、ロシア語
略歴	2019 年 9 月当社入社。セキュリティサービス部にて、Web・クラウドの診断、ソースコード診断、侵入テストに従事 2026 年 9 月　JavaScript 向け通信ライブラリ「Axios」の脆弱性を発見・報告（CVE-2026-101901） 2026 年 10 月不正アクセス事案の対応で、侵入テスト等の技術面を担う 2026 年 11 月 Rust 製の基本コマンド群「uutils coreutils」の脆弱性を発見し、開発者と協調して修正・公表（GHSA-c522-hqhp-v2qq）
活動	国際的なオープンソースプロジェクトでの脆弱性研究・開示 **・CVE-2026-58378** **・CVE-2026-33691（GHSA-rw5f-9w43-gv2w）** **・CVE-2026-62971（GHSA-6jp8-c2w2-x7wr）** **・CVE-2026-101901（GHSA-542g-h47m-68v8）** **・CVE-2026-107835（GHSA-g4qm-m288-5cp9）** **・GHSA-89h9-2j8h-9gp2** **・GHSA-864j-qcr9-jrwh** **・GHSA-hjwj-84x5-h7gr** **・GHSA-54x6-c4c8-44fr**

	・**GHSA-3jmh-xh36-pj6v** ・**GHSA-c522-hqhp-v2qq**

同氏は、2019 年の入社以来 7 年にわたり当社のセキュリティ診断の現場を担うとともに、世界で広く使われるオープンソースソフトウェアの脆弱性を自ら発見し、海外の開発者と協調して修正・公表まで導いてきた研究者です。5 つの言語を操り、海外の研究者コミュニティとも接点を持っています。10 月の事案対応では再発防止策の技術面を支え、現在は AI 利用における情報管理のルールづくりにも取り組んでいます。国際的な視野と現場の実践力を併せ持つ同氏のもとで、世界の知見を当社と提供先金融機関の守りに生かし、セキュリティ事業の成長につなげてまいります。

4．今後の見通し

本件による 2026 年 12 月期の業績への影響は軽微です。本件は、現在策定中の新中期経営計画（2027-2029）正式版を見据えた体制整備の一環として実施するものです。3 つの戦略室の取組みについては、四半期決算説明資料および任意の適時開示等を通じて、継続的に情報発信してまいります。

5．施行日

2026 年 12 月 1 日

以　上